

岩屋中だより

令和5年6月9日 NO5
発行 長崎市立岩屋中学校
文責：校長 川口 猛

中総体に向けて……

生徒代表激励の言葉から

中総体に参加する選手の皆さん、これまでの練習お疲れさまでした。皆さんはこれまで、夏の暑さにも冬の寒さにも負けず、日々の練習に励んでこられたことと思います。厳しい練習やなかなか結果が出ない苛立ちから、時にはくじけそうになって、やめたいと思ったこともあるかもしれません。

それでも、そういった弱い心に打ち勝ったからこそ、中総体に出場できるのだと思います。本番では、そうして、積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮して、最高の大会にしてください。また、皆さんの、ユニフォームには、岩屋の文字が刻まれています。岩屋中生としての自覚と誇りを持ち、挨拶や会場での過ごし方などでも、スポーツマンシップを発揮してもらえればと思います。

私たちは会場に応援に行くことができませんが、皆さんの健闘を祈り、この学校から応援の気持ちを届けたいと思います。自分たちの目標を達成できるように頑張ってきてください。

激励の言葉から

いよいよ6月10日から「長崎市中学校総合体育大会」が開催されます。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、前年度よりも制限が少なくなり、実施できるようになりました。しかし、油断はできないことから、大会役員をはじめ、多くの方が開催に向けていろんな努力をしてくださっています。私たちが、大会に参加できることは多くの人の支えがあるということを忘れずに、感謝の気持ちをもって大会に臨んでほしいと思います。

ところで選手の皆さんは、インフルエンザ等もあり、コンディションを整えるのにも苦労していることかもしれません。そこに、雨が続きますし、中総体に向けてベストのコンディションとは言えないかもしれませんが、ここで後ろ向きに考えても、どうにもなることはありません。試合当日まで、いや、試合が始まる直前までできることを精一杯やってコンディションを整えてください。

勝利を手にするために目指すこと3つ。

○1つめは、今、言ったコンディションを整えることです。

○2つめ、与えられた環境の中で最後まで諦めることなく、個々の力を結集し支え合うチームであること。こー一番という場面で強いのは、皆が「気づき、考え、行動する。」ことができるチームです。イメージトレーニングも含め、総仕上げとして努力してください。

○3つめ、試合をしていれば、勝負の分かれ道が必ずあります。その時に、「これはかてるかも……」と思わない事。「勝てる」ではなく、「勝とう」と思って勝負に臨んでください。勝てると思った瞬間に、油断が生じます。

さて、競技力の向上、精神力の向上などに努力してきたこと、それは人生の大きな宝物です。頑張ったからこそ手に入れることができる宝物。それをつかむ瞬間が中総体です。光り輝く宝物は、試合に勝つということだけではありません。「競技に取り組む姿勢、マナー、などの参加態度も含めて他校の模範となるものであれば、輝きがより一層増すでしょう。そして、自宅を出てくるときに、行ってきます。そして、帰宅したとき、ただいま、ありがとう、試合が終わった時に、支えてくれた仲間、保護者、コーチ、先生方に、ありがとう と素直にと言えたら、その宝物は本物です。

残念ながら、一般生徒は会場に応援することは叶いませんが、心を込めて、選手の健闘を後押ししてほしいと思います。

それでは、大会での選手の活躍を期待しています。

